

# 令和4年度 常滑市社会福祉協議会 事業報告

令和4年度における常滑市社会福祉協議会の主たる事業を、次のとおり報告します。

## 【1】ボランティア活動等育成事業の推進

(1) ボランティアセンターの運営

登録グループ 70グループ 2,048名

(2) ボランティア団体等の支援

常滑市ボランティア連絡協議会の活動支援

(3) 各種ボランティア講座等の開催

市民を対象にボランティア講座等を開催しました。

### ① 手話奉仕員養成講座 入門編（手話奉仕員養成事業）

期 間 令和4年10月～5年3月 全23回

場 所 とこなめ市民交流センター

共 催 常滑市（協力 知多地区聴覚障害者支援センター）

受講者 修了者 9名

内 容 手話の入門編の養成講座を行いました

### ② 障がいがある人の地域音楽イベント活動（自発的活動支援事業）

日 時 令和5年3月25日

場 所 ワークセンターかじま

主 催 常滑市

協 力 宮内優里講師（演奏、機材）

内 容 障がいのある方が企画した音楽イベントに地域住民が参加し障がいの有無にかかわらず、みんなで音楽を楽しむ地域交流活動を行いました。

(4) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の実施

災害時にボランティアセンターの立ち上げが円滑に行えるように、常滑市ボランティアリーダー会、常滑市と立ち上げ訓練を実施しました。

日 時 令和4年11月6日

(5) ボランティア保険の加入促進と助成

ボランティア活動時の傷害及び賠償事故を補償するために、ボランティア保険の加入促進を行いました。

ボランティア保険加入者数 848名

## 【2】福祉教育の推進

(1) 市内の各小中学校での福祉教育活動へ協力しました。

福祉実践教室の開催 市内5小学校の児童が車椅子介助、手話等を体験しました

(2) 平和を考える事業の実施

8月に絵本や資料を用いて、説明する機会を2回実施し、延べ38名の子どもたちが平和について学び、考えました。

## 【3】社会福祉協議会の広報活動

広報紙の発行やホームページ上で行いました

・広報紙「とこなめふくしレポート」を月1度、市内各世帯に回覧しました。

- ・法人全体のホームページ、また高齢者支援に関するホームページを運営しました。

#### 【4】児童・母子父子福祉の推進

##### (1) おもちゃ図書館の開催

おもちゃ図書館ボランティア「ぼっけ」の運営協力により、おもちゃ図書館を開催しました。

開催回数 22回(毎月第1・3木曜日)(会場 ところなめ市民交流センター)

利用者数 延べ 785名

##### (2) ファミリーサポートセンター事業の運営

地域での子育て支援として、地域の会員同士での子育てを助け合う事業を実施しました。

令和5年3月末会員数 114名 4年度延べ活動件数 230件

##### (3) 母子家庭等日常生活支援事業の実施

母子家庭等へ生活援助が必要な場合に支援員を派遣する事業を実施しました。

##### (4) 養育支援訪問事業の実施

養育支援訪問員(ヘルパーなど)を派遣しました。

##### (5) 子ども会活動の支援

常滑市子ども会連絡協議会の事務局として子ども会活動を支援しました。

・地区子ども会数 11子ども会

・綱引き大会などイベントは中止しました

##### (6) 里親ボランティア活動の実施

児童養護施設で暮らす子どもたちを支える里親ボランティア活動を実施しました。

##### (7) 学習支援事業・子どもの居場所の実施

生活保護世帯や母子家庭などの子どもの勉強をサポートするとともに、子どもの居場所として2ヶ所(鬼崎・瀬木)を運営しました。

延べ 93回開催・536名参加

##### (8) 放課後児童健全育成クラブの運営

保護者が就労している小学生を対象に放課後や夏休み等に生活・遊びの場を提供しました(主として小学3年生以上の児童を対象)。

名称 リトルバード鬼南児童クラブ (場所) 多屋地区(鬼崎南小学校区)

延べ利用者数 5537名(令和4年4月~令和5年3月)

##### (9) ラーニングルームの運営

中高校生の自主的な学習を支援するため、自習ができる場を定期的で開催しました。

・期間 令和4年4月~5年3月(週1回)

・会場 西田コンサル不動産内「輝きホール」(新開町)

##### (10) 小学生とその保護者の食育こども食堂の開催

親子でクイズや手作りのお昼ご飯を食べて、栄養や調理法についての食育を学ぶ取り組みを行いました。

・青海公民館8月20日、中央公民館8月27日(参加者:各20組)

・共催 常滑市食生活改善協議会

#### 【5】高齢者福祉の推進

##### (1) ひとり暮らし高齢者のシングルシニアミーティングの開催

昨年度までの「語ろう会」を新たにして、65歳以上の一人暮らしの方を対

象にした終活を考える会を市内4地区で開催しました。

(1 1月29日青海、12月2日鬼崎、6日常滑、7日南陵：各地区50名)

(2) 介護用品購入券(クーポン券・在宅介護応援券)の贈呈

要介護の高齢者や身体障がい者等の方に介護用品購入券を贈呈しました。

●介護用品クーポン券(常滑市より支給)

利用できる方 要介護度4以上の方で市民税非課税世帯に属する方

利用者数 延べ509名

●在宅介護応援券(社会福祉協議会より支給)

利用できる方 おおむね65才以上の方で要介護2以上の方など

利用者数 延べ1,341人

(3) 介護用品の貸出

介護が必要な高齢者等の方に車イスを貸出しました。

延べ利用件数 118件

(4) 配食サービスの実施

食事づくりが困難なひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯等の方に、月曜日から金曜日までの夕食をお届けしました。配達には協力員の方をお願いしています。

利用者数 延べ162名 配食数 延べ2,286食

(5) 軽度生活援助サービス事業の実施

要介護認定で自立となった一人暮らし高齢者へヘルパーが清掃・買い物等の支援を行いました。

(6) 日常生活自立支援事業の実施

認知症高齢者、知的障がい者等で判断能力が不十分な方に福祉サービス利用援助等を行いました。令和5年3月末利用者数 0名

(7) ふれあい活動への助成

地域での自主的なふれあい活動(ふれあいサロン)に対し、活動運営費を助成しました。助成活動数 41ヶ所、延べ参加者数 16,332名

(8) 金婚を祝う会(共催 常滑市)

金婚をお祝いする式典を行い、記念品等をお贈りしました。

・送付日 令和4年11月22日 常滑市役所

・送付先 金婚を迎える夫婦 30組

(9) 地域見守りネットワークの実施

認知症高齢者の行方がわからなくなった際に、登録された地域サポーターへメールなどで捜索協力を呼びかけ、地域での見守りを行いました。

地域サポーター数(メール・ライン・FAX) 563名 呼びかけ件数 延べ3件

(10) 老人クラブ活動の支援

常滑市老人クラブ連合会の事務局として老人クラブ活動を支援しました。

・地区老人クラブ数 21老人クラブ

・グランドゴルフ大会、カラオケ大会、趣味の作品展、麻雀大会などの行事を行いました

(11) 地域包括支援センター(高齢者相談支援センター)の運営

高齢者の総合相談窓口として各種相談・支援、地域での介護予防を推進するため、新たな運動方法の企画の実施、また認知症に関する理解促進のための各種事業を実施しました。

・延べ相談件数 1819件

・チームオレンジ登録者数 30名(認知症理解促進のためのボランティア)

- ・認知症初期集中チーム（チーム内での情報共有等を実施）
- (12) 介護予防・生活支援体制整備事業の運営（生活支援コーディネーター）
  - 高齢者が自宅・地域で安心して生活し続けられるよう、運動の場やサロン等の介護予防活動と軽易な生活上の手助け（ゴミ出し等）などの生活支援活動を住民とともに推進するため、生活支援コーディネーターを配置し、ボランティアの養成やイベント等を開催しました。
  - ・地域ボランティア登録数 243名 延べ活動件数 3461件
  - ・地域での介護予防イベント等の実施
    - ・ご近所ウォーク（前山地区、常滑南地区で実施）
- (13) 地域安心生活検討会の実施
  - 地域の住民が地域課題を我がことと捉え、課題解決に向け動ける体制づくりの検討会を三和、鬼崎北、常滑西、西浦北地区で行いました。
  - ・合同1回、各地区別で年2回開催
- (14) 高齢者健康づくり支援事業（スマイルポイント）の実施
  - 高齢者の健康づくり（介護予防）を推進するため、運動やボランティア活動へ参加した際にポイントが付き、貯まると商品券と交換する事業を実施しました。
  - ・登録者数 4,770名
  - ・登録団体 249団体（運動系 168団体、ボランティア系 81団体）
- (15) 地域の居場所運営（大野地区、小脇地区での「まちかどサロン」の実施）
  - 地域の高齢者などが気軽に立ち寄れる居場所を週1回開催し、介護予防事業や交流事業を実施しました。
  - 延べ開催回数 77回（大野 38 小脇 39） 延べ利用者 818名（大野 495 小脇 323）
- (16) 認知症に関する啓発事業
  - 認知症カフェを中心に啓発活動を交流センター等で開催しました。
- (17) 小規模の交通過疎地への移動支援事業の実施
  - 青海町、桧原地区、多屋団地地域において住民等とともに移動支援事業を試行的に実施し、必要性等を検証しました。
  - ①青海町
    - 内容 青海ボランティア隊が実施する「青海無料バス」へ車両の貸し出しや経費の一部負担等を行いました。
  - ②桧原地区
    - 内容 桧原地区の高齢者を対象に南部包括支援センターやサンレータクシー等と協力して、桧原地区から知多バス停留所まで送迎を行いました（毎週火・金曜日に実施 利用者数 延べ 108名）
  - ③多屋団地
    - 内容 多屋団地の高齢者を対象に町内会やサンレータクシー等と協力して、多屋団地から買い物や通院等の送迎を行いました（毎週火・金曜日に実施 利用者数 延べ 267名）。
- (18) 福祉有償運送の実施
  - 要介護者や障がいのある方を対象に通院等を有償で行う福祉有償運送を実施しました。
  - ・延べ利用件数 1,347件

## 【6】障害福祉の推進

- (1) 障害福祉サービス（地域生活支援事業）の実施

障害者総合支援法での障害福祉サービスとして、また地域生活支援事業として次のサービスを実施しました。

- ・ワークセンターかじま（就労継続支援B型）※定員40名
- ・デイセンターおおそ（生活介護事業）※定員50名（しんめい含む）
- ・グループホームこころ（こころ、なぎ、そよかぜ、大地、さくら）※定員25名
- ・相談支援事業 ※延べ相談件数 5,080件
- ・地域活動支援センター ※延べ利用者数 434名

(2) 外出支援サービスの実施

車イス等で外出する方の手助けとして、車イスのまま乗車できる福祉車両での送迎と、福祉車両の貸出を行いました。

利用者数 延べ 68人 利用件数 延べ 895回

車両の貸出し 延べ 60件

(3) 心身障害児者歯科保健指導の開催

常滑市歯科医師会にご協力をいただき、障がいをもつ方の歯科健診、歯みがき指導等をデイセンターおおそで開催しました。

(4) 声の広報の制作

ボランティアグループ「テレッコ」の協力により、常滑市広報紙「広報とこなめ」を朗読し、録音したものを視覚に障がいのある方のために制作しました。

制作回数 12回

(5) 自殺予防対策事業の実施

地域での自殺予防事業として、相談事業や啓発活動などを行いました

対面・電話相談 延べ（対面20件 電話7件）

女性・若者向け相談 延べ8件（「こころのきゅうけいしつ」として実施）

グリーフケアの会 延べ13名（年7回開催）

各種啓発事業 講演会 桂枝女太 いのちをつなぐことばの講演会  
参加者 100名

パンフレットの配付などの啓発活動を実施

【7】社会福祉事業の啓発（会員募集）

市内各世帯のみなさまを始め、各団体、事業所等のみなさまよりご協力をいただきました。お寄せいただいた会費は福祉活動に活用しました。

【8】相談事業（心配ごと相談）の実施

弁護士等が法律や日常的に起こる様々な相談に対応しました。

開設場所 とこなめ市民交流センター

開設日数 24回（毎月第2・4火曜日 午後1時30分～3時30分）

相談件数 28件

【9】生活困窮者支援活動・資金貸付事業

(1) 生活困窮者自立支援相談事業（くらし・ひきこもり相談支援センター）の実施  
生活に困窮している方、長期間働いていない方、ひきこもりの方などの生活相談や支援を実施しました。

・相談者数 新規相談者実人数 81名

・社会的に孤立した方への生活・就業支援事業

長期間働いていない方や引きこもっている方などを対象に就労体験とし

て延べ 433 名が清掃業務や農作業での補助業務を体験しました。

・ひきこもり支援（居場所の運営 ※樽水地区）

市民による支援ボランティアグループ「わたげの会」により、樽水地区において、当事者やその家族が参加できる居場所運営、相談事業を行いました。

開催回数 13 回、延べ参加者数（ボランティア含む）164 名、相談件数 6 件

（2）行路者援助

市外へ移動する旅費などが無い方へ貸付・援助しました

（3）資金貸付事業

一時的な生活費の貸付や新型コロナ感染拡大にともなう生活費貸付等を目的とした貸付を行いました

緊急援護費貸付 72 件 生活福祉資金貸付（新型コロナ関連）324 件

（4）フードバンク事業の実施

企業や個人の方等から使用されない食料を引き取り、福祉団体や施設を通じ、生活困窮者支援や福祉団体の活動に活用しました。

延べ取扱い食品量 51.9 トン（金額換算 3114 万円相当）

こども支援活動「お福分けステーション」として、お子さんのいる家庭へ食材をお分けする取り組みを毎月市内 5 ヶ所（3 月末）で行いました。

【10】福祉団体活動支援

（1）助成金の交付など

身体障害者福祉協会、遺族連合会、手をつなぐ親の会、BBS 会、半田人権擁護委員会常滑地区委員会へ事業助成しました

（2）遺族会活動の支援

常滑市遺族連合会の事務局として遺族会活動を支援しました。

・常滑市戦没者合同慰霊祭の実施（令和 4 年 6 月 27 日 交流センター）

【11】収益事業の経営

活動財源確保のため、常滑競艇場で売店経営等を行いました。

- ・常滑競艇場内売店（1 号食堂、5 号売店、自販機コーナー）
- ・各公民館など市内公共施設での飲料水自販機の設置